

職員会資料やホームページ「園長室から」のタイトルを下のような「ひかりっこストーリーを共に」と名付けました。本日は、園長交代の初めと言うこともあり、職員会での資料の抜粋や、園の施設関係、園児の様子（園だよりなど）をお知らせします。

職員会議資料から 2023年4月26日

ひかりっこストーリーを共に

新年度が始まり、子どもたちは新しい環境に慣れるための1か月だったと思います。一番慣れなければいけないのは、私自身でしたが、先生方や子どもたちに教えてもらいながらの1か月でした。先生方が、子どもたちの注意と興味を引き寄せながら、絵や写真や言葉を使って行動の見通しを持たせている事や、時間ごとに役割ごとに誠実に取り組んでいただいていることに感謝です。

さて、年度当初にあたり、いつも自分自身が子供との接し方のよりどころとしている「教師十戒」を紹介します。

「教師十戒」

毛涯章平著 『肩車にのって』より

- 一 子どもをこばかにするな。教師は無意識のうちに子どもを目下の者と見てしまう。子どもは、一個の人格として対等である。
- 二 規則や権威で、子どもを四方から塞いでしまうな。必ず一方を開けてやれ。さもないと、子どもの心が窒息し、枯渇する。
- 三 近くに来て、自分を取り巻く子たちの、その輪の外にいる子に目を向けてやれ。
- 四 ほめることばも、叱ることばも真の「愛語」であれ。愛語は、必ず子どもの心にしみる。
※「愛語」：相手の身を思いやって語ることば
- 五 暇をつくって、子どもと遊んでやれ。そこに本当の子どもが見えてくる。成果を急ぐな。裏切られても、なお信じて待て。教育は根くらべである。
- 六 教師の力以上には、子どもは伸びない。精進を怠るな。
- 七 教師は「清明」の心を失うな。ときには、ほっとする笑いと、安堵の気持ちをおこさせる心やりを忘れるな。不機嫌、無愛想は、子どもの心を暗くする。
※「清明」：自然で明るく、ゆったりすること
- 八 子どもに素直にあやまれる教師であれ。過ちはこちらにもある。
- 九 外傷は赤チンで治る。教師が与えた心の傷は、どうやって治すつもりか。

1、施設面より

職員の協力がありがたい…うさぎ小屋の改修

園で飼育しているうさぎの「うさこ」の小屋が老朽化している事から、生き物係が中心となって、うさぎ小屋のリニューアルをいたしました。運転手の松島さんが小屋を造り、小屋内のいらなくなったものを運転手のUさんとMさんのご協力を得て廃棄しました。今後の飼育と、園児との関わりについて、明日の職員会で、生き物係から提案があります。改修時は、園の先生方のほとんどが集まって、荷物の移動などしていただいたことが、大変ありがたかったです。



ビオトープのリニューアル…子どもたちや先生方、地域の方と共に創るビオトープ

園庭にあるビオトープの中の泥を、職員ですべて運び出し、リニューアルしました。先生方や子どもたちがメダカやカエルの卵、ドジョウを持ってきてくれました。また、地域の方から、メダカを20匹ぐらいもらいました。水草を持ち上げたり、メダカをつかまえようとしたり、大喜び！



上原先生、すごい！！



メダカが泳いでるよ！早い！早い！

2 園児の様子（園だより・週報などから）

(1) ✨毎日の《ひかりっこ》 ✨ 年中さん



～命を考える～ つかまえたカエル、どうする？

カエルの色が変わったよ！どうしてかな？

ひかりっこは、生き物が大好きです。毎日、園庭でダンゴムシやアメンボなどを見つけることに夢中です。そんな中、子どもたちは4月下旬に園庭で一匹のカエルを見つけました。早速、水槽に入れて、色が変わる様子を見たり、声をかけたり、何を食べるのか調べたりして、エサ探しに奔走…。捕まえたカエルとのかかわりを深めていました。しかし、担任の先生方には、連休を前にして悩みが発生します。「入れている水槽は小さい…明日から5日間の連休がやってくる…カエルの身になって命を絶やささない気持ちを持ってほしい」と。



何を食べるのかなあ、調べてみよう！

この年齢は、捕まえた生き物を手放すことは、まだ受け入れがたい年頃です。子どもたちと先生方は、カエルをどうするか一緒に考えました。カエルと自分を重ねて考えてみました。すると、子どもたちは、

ぼくたちも狭い中にいてどこにも行けなかったらたらいやだし、ママにも会えなかったらかなしい。だから、カエルは緑ヶ丘公園の池に逃がしてあげたい。

という思いをもち、みんなでカエルを緑ヶ丘公園に放しに行きました。そのあとも、虫を捕まえると「お帰りの時、庭に返してあげるんだよ！」と言っている声が聞こえてきます。

(2) 毎日の 《ひかりっこ》 ✨ 年長さん

すずどんが、ぼくたちのきょうしつにやってきた！ 行事の意欲付けと、連続した活動の工夫

7月21日（金）22日（土）は、年長児のお泊り保育です。年長組では「すずどん」登場させて意欲付のきっかけとしています。

年長さんでは、かわいい妖精☆すずどん☆が登場して、お泊り保育の意欲づけと継続的な活動が生まれていますね。手書きのすずどんがとってもすてきですね。（週報より）」



お泊り保育に使う T シャツの色染めや、その日に歌う歌の練習をしています。



参観日に、親子で、T シャツの色付けです。

「きれい！！」「あれ、みんな青になっちゃった！」ママ「大丈夫！きれいだよ♡」

(3) ✨ 毎日の 《ひかりっこ》 ✨ 年少さん

ありふれたものにわくわく感 …一人一人の違った関り方を楽しむ…

年少さんは、園や家にもある広告の紙や新聞紙で遊びました。一人がちぎり始めると、「自分もやってみたい」という子が出てきました。いろいろな紙があり、この年齢の子どもたちには、ちぎったり、丸めたりするのは意外に難しく、しかし、その感触をみんなで楽しみました。



この紙は、すぐちぎれたよ。
この紙はかたいよー。



新聞紙でヨーヨーづくりしました。
うまく丸められたー♡